

春日井ロータリークラブ 2016～2017年度 WEEKLY REPORT



クラブテーマ

～地域で期待されるロータリアンになろう～

会 長 : 伊藤 純 例会日 : 金曜日 12:30～13:30
 副 会 長 : 社本 太郎 例会場 : ホテルプラザ勝川
 副 会 長 : 宅間 秀順 事務局 : 春日井市鳥居松町5-45
 幹 事 : 成瀬 浩康 TEL : (0568) 81-8498
 会報委員長 : 加藤 宗生 FAX : (0568) 82-0265
 E-mail : Ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

自然の恵みを
未来の子供達へ

ロータリーの森

本日のプログラム

2016年8月26日(金)2290回(8月第3例会)

- | | | |
|--------------|-----------|--------|
| ・点 鐘 | 司会 | 朽本 正樹君 |
| ・ROTARY SONG | | 伊藤 純君 |
| ・今月の歌 | 「奉仕の理想」 | |
| ・ビジター紹介 | 「琵琶湖周湖の歌」 | |
| ・食事・歓談 | | 伊藤 純君 |
| ・委員会報告 | | |
| ・会長挨拶 | | 伊藤 純君 |
| ・卓 話 | | 倉橋 亮介氏 |
| ・幹事報告 | | 成瀬 浩康君 |
| ・点 鐘 | | 伊藤 純君 |

◎例会変更のお知らせ

豊 田 東 RC	9月7日(水) 9月7日(水) 18:00 夜間例会の為 トヨタキャッスル
瀬 戸 北 RC	8月30日(火) 8月30日(火) ガバナー公式訪問の為 サンプラザシーズンズ
名古屋大須 RC	9月8日(木) 9月5日(月) ガバナー公式訪問の為 名古屋観光ホテル
名古屋葵 RC	9月1日(木) 9月2日(金) ガバナー公式訪問の為 名古屋東急ホテル
尾 張 旭 RC	9月2日(金) 8月30日(火) ガバナー公式訪問の為 サンプラザシーズンズ
羽 島 RC	8月30日(火) 8月27日(土) 納涼例会の為 十八楼
羽 島 RC	9月6日(火) 9月7日(水) ガバナー公式訪問の為 フォーラムホテル
江 南 RC	9月8日(木) 8月8日(木) 合同夜間例会の為 商工会館

今月の歌

琵琶湖周航の歌
 私は湖の子 さすらいの
 旅にしあれば しみじみと
 昇る狭霧や さざ波の
 滋賀の都よ いざさらば

先週の記録

幹事報告 幹事 成瀬 浩康君

地区行事

- *9月8日: 地区女性現会長・会長経験者懇談会
出席者: 志水ひろみ直前会長
- *2017年3月25・26日: RYLAセミナー
出席者: 芝田貴之青少年委員長
梅村守インターアクト地区委員

次週予告

- *卓話 合唱指揮者 倉橋良助氏

出席報告

委員長 大橋 省吾君

会員 61名	欠席 23名	出席率 62.3%
先々週の修正出席	欠席 2名	出席率 96.7%

ニコボックス報告

委員長 速水 敬志君

- 卓話をさせていただきます。 長谷川英輝君
- 祝福のお祝いありがとうございます。 社本 太郎君
- 来週アテンダンス祝福を受ける喜びで 加藤 茂君
- 誕生日の祝福を受ける喜びで 屋嘉比良夫君
- 本日、初めての司会を務めさせていただきます。ありがとうございます。 藤川 誠二君

会員増強・新クラブ結成推進月間

例会予定	9月2日(金) クラブ協議会 13:30 ガバナー補佐訪問 ガバナー補佐 古田嘉且君	9月9日(金) 理事役員会 11:30 卓話豊田市コンサートホール 副館長 杉浦隆伸氏	9月16日(金) 祝福 卓話河村哲也君	9月23日(金) 卓話 米山予定
------	---	--	---------------------------	------------------------

ホームページ: <http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail: ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

○昨日の雨はロータリーの森の木々には恵みの雨水でした。早川 八郎君

○吉田選手の銀メダルコメントに感動して

青山 博徳君

○お二人の卓話楽しみにしています。祝福おめでとうございます。

近藤 太門君 足立 治夫君 梅村 守君

小川 長君 岡田 義邦君 岡嶋 良樹君

大橋 省吾君 岡本 博貴君 河村 哲也君

加藤 宗生君 貴田 永克君 北 健司君

川瀬 治通君 近藤 秀樹君 清水ひろみ君

清水 勲君 芝田 貴之君 栃本 正樹君

宅間 秀順君 峠 テル子君 成瀬 浩康君

速水 敬志君 蓮野 美廣君 馬々大刀雄君

古屋 義夫君 山田 治君

○ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

卓話

加藤久仁明君

会員増強月間卓話

ここ数年新しいメンバーが多く入会されましたので、RC 情報委員長として、ロータリアンとして、覚えておくに役に立つ3つの事をお話します。

①ロータリークラブは1905年アメリカ、シカゴで弁護士ポール・ハリスと4人の友人で産声を上げ、1業種1人が原則（この事は後で長谷川職業分類委員長が説明します）で世界に瞬く間に広まったクラブであり、1929年の世界恐慌の前には、ロータリーメンバーは無担保で銀行から融資を受ける事が出来るくらいの地位になっていました。現在、世界に120万人以上の仲間がいます。

（ちなみにLCは、1917年RCメンバーの一部が分かれてアメリカで出来たクラブで、世界に134万人のメンバーがいます）

②ロータリークラブの概念は、職業奉仕（自分の仕事を高める）をする事により、そこから広がる社会奉仕と国際奉仕を目的とし、「I serve: 私は奉仕をする」が基本で、クラブとは、「奉仕をするクラブ会員であるロータリアン個人の集まり」であるとの考えである。

（LCは、「We serve:我々は奉仕をする」と言う様に、チームワークを発揮して奉仕するのが基本概念であるそうです）

③ロータリークラブの日本上陸は1920年で、米山梅吉氏（1952年米山氏の功績を称え米山記念奨学会が設立される）が中心となり東京に設立され、国際RCから855番目に認証を受けました。

（LCの日本上陸は1952年3月で東京に設立されました）

今月は、会員増強月間ですので、春日井ロータリークラブの会員増強の考え方についてお話しし

ます。春日井RCの会員は、30周年頃がピークで、90名近くの会員を有していました。当時は社会奉仕も積極的で、25周年記念事業のロータリーの森（花見例会する場所）の清掃手入れ、春日井コロニー祭での3クラブ合同（春日井・名古屋空港・名古屋城北）でのバザー等を行っていました。ある時期からこのコロニー祭の参加もやめ、社会奉仕事業も下火になると共に、会員も減少し、50名を切るクラブになりました。春日井RCのステータスを高め会員増強をするには、社会奉仕が必要であり、ロータリーの原点に戻らなければ成らないと当時の幹部が考え、地域的には「春日井福祉のつどい」に参加、「ニュートンの林檎の木の植樹事業」等、国際的には、「セブ島小学校に水洗トイレを寄贈」とセブ島女子中学生に対する「あしながおじさん事業」を進め現在に至っています。その甲斐あって徐々に会員も増えてきました。もう1点、会員増強委員会のメンバー構成を、それまでパスト会長を中心とした構成（パスト会長の御爺捨て山）から、入会の新しい若い会員を中心とした構成に変え、新しい会員に「友達を紹介して下さい」と言うお願いをしました。（新会員が会員増強委員会に配属される事により、友人を紹介しても友人が入会を認めて貰えるかと言う不安を払しょくする為）その結果、ここ数年、毎年、2760地区からは会員増強ガバナー賞を頂き、45周年の時には、会員増強RI会長賞も頂きました。

次年度以降の会長幹事をお願いします。必ず、地区補助金を利用して、地域貢献の社会奉仕事業、国際奉仕事業を企画し実行して下さい。奉仕事業の立案実行は、新しく入会した若いメンバーの考えを尊重し登用して下さい。新会員中心の構成の会員増強委員会を作る事を継続して下さい。この2点を続ければ、春日井ロータリークラブの知名度は上がり、数年先には、70名以上になり昔の輝きを取り戻すクラブになると確信しています。

最後に皆様からの新しいメンバーの紹介をお待ちしております。

卓話

長谷川英輝君

こんにちは、職業分類委員長の長谷川です。本日は会員増強月間にちなんで職業分類の卓話をするよう承っています。その前に私事ではありますが、去る7月25日に次男が生まれましたので、前回の日比さんにつづき少しご報告をさせていただきます。

名前は正悟（しょうご）といいます。日比さんのところは2日がかりの大変なお産だったようですが、うちは1時間の超安産でした。予定日1週間前に少し出血があり病院へ行ったところ、出血も止まりまだ生まれる気配ないので帰宅してOKと言われました。念のため病院に一泊することに

して、私は帰宅して長男と一緒に寝ていました。

翌朝目覚めて携帯を見たら妻から「もう生まれたよ」というメールが届いており、「えっ??」と絶句しました。後で聞いたら11時少し前から陣痛が始まり、そのまま1時間とたたず生まれたとのことでした。予想外にスピーディに生まれたので実感が湧きませんでした。退院して4人での生活が始まり、やっと家族が増えたことを実感する毎日です。

さて、今日は『職業分類に意味はあるのか?』というテーマでお話しさせていただきます。

「意味はない」ということになりますと、職業分類委員長の私は失職しますので、結論から先に申しますと「意味はある」という方向へ話を持っていきたいと思えます。

最初に、職業分類に関するRCの考え方の変遷をご紹介します。2001年のシカゴ規定審議会で会員資格規定が変更され、一人一業種による職業分類制度が廃止されました。今からちょうど15年前のことで、それほど昔のことではありません。現在は、「同一職業分類の正会員は5名以内、会員数51名以上のクラブではその10%まで」となっています。春日井RCでいうと会員数は61名ですから、その10%、一業種6名まで入れるよ、ということになります。この変更のインパクトはかなり大きかったようで、RCの当時の資料を見ると、「RC設立理念の崩壊」「誠に遺憾である」「ロータリーを愛した人たちが幻滅を感じて去って行った」とか、この世の終わりのような書かれ方をしているものもあります。当時在籍した会員の方々も多いと思いますが、どのように感じられたのでしょうか? 「一人一業種」の理念はそれだけRCにとって大切だったのだと思えます。

次に、なぜ一人一業種の考え方をとっていたのか?をお話ししたいと思います。一人一業種は、RC設立の祖であるポール・ハリスが1905年に打ち立てた原則です。目的は、「大都会における過酷な自由競争の中で心に安らぎを与える真の友情を得ること」でした。平たく言うと、同業者がいるとお互い利害関係が生じて親睦が阻害されるので一業種一人に限りますよ、ということです。なのでRCは発足当初の主旨からして、同業者団体や、地域の事業者が万遍なく所属する商工会議所などとは違う団体でした。

では、なぜRCの根本理念ともいえる「一人一業種」が廃止されたのでしょうか?一番の理由は、会員増強の問題です。RCだけでなく他の団体でも会員数維持・増強には悩んでいることが多いですが、一人一業種では入会できる人の母集団が限られてしまい、組織が維持できなくなってしまう可能性があります。たとえば私は「公認会計士」という職業分類で入会しましたが、春日井RCに

は公認会計士として貴田先生が大先輩でいらっしゃいます。なので「一人一業種」が厳格に続いていたら私は入会できず、そうすると今皆さんの前でお話しさせていただくこともなかったわけです。他にも、たとえば「不動産業」として太田さん、宗生さん、河村さんの3名が所属していますので、同じ話になるかと思えます。会員増強以外の理由として、実は拡大解釈により2001年の段階で職業分類はすでに有名無実化していた(例えば歯医者さんの中で矯正歯科・口腔外科に分ける)とか、観光地のような地域では宿泊業・土産物業など業種が集中してしまう、ということもあったようです。いずれにしても「一人一業種」の廃止は必然だったと言えます。

そうすると、「職業分類の意味はあるのかな?」という疑問が湧いてきます。一人一業種は廃止され5名まで認められるようになった。さらに拡大解釈により職業分類を細分化することも認められている。運用によっては一業種何名でも入会できてしまう。果たして職業分類の意味はあるのでしょうか?

私は、それでもやはり意味があると思えます。それは会員増強で新入会員を勧誘する時の『大切な価値判断』という役割です。RCは親睦が大切というのは、一人一業種であろうと、5名以内であろうと、RCの根底に流れる考え方です。皆さんも新入会員を勧誘するときに、「この人はクラブ内の同業者との親睦を阻害するような人ではないか?」と考えるのではないのでしょうか? 荒っぽい言い方をすると「職業分類なんか拡大解釈でどうにでもできる」とか「まだ3名だからあと2名OK」という緩さを持ちながら、「でも同業者の人たちとうまくやれそうかな?」という大事なことを考えさせられます。

先ほど一人一業種が廃止されたときに「RC設立理念の崩壊」との声が上がったと言いましたが、今の職業分類規定があることでRCの設立理念はしっかり守られているのではないのでしょうか。ですからやはり職業分類には意味がある、と考えます。

ずいぶん遠回りしましたが、「職業分類には意味がある」という結論になりましたので、今年1年、職業分類委員長の役職をつとめさせていただきたいと思います。新入会員が入ってこない職業分類は商売あがったりですので、皆さんのお力で新入会員増強へのご協力をよろしくお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

今月の祝福

会員誕生日

9日	社本 太郎君	9日	名畑 豊君
11日	屋嘉比良夫君	12日	伊藤 一裕君
18日	峠 テル子君	31日	岡本 博貴君

夫人誕生日

3日	小柳出和文君・恵梨香さん
11日	山田 治君・幸子さん
22日	成瀬 浩康君・由美さん

アテンダンス表彰

4 2ヶ年	貴田 永克君
〃	加藤 茂君
1 4ヶ年	加藤久仁明君
1 0ヶ年	蓮野 美廣君
2 ヶ年	大橋 省吾君



卓話 加藤 久仁明君



卓話 長谷川 英輝君



会員誕生日 お祝い



米山功労者 清水 勲君

